



## 今月のトピックス

### 津島市立図書館編年資料集成 1895-2015 上・下冊同時刊行

津島市立図書館創立から120年を記念して、上下巻2冊の資料本を刊行することになりました。1895年(明治28年)に「凱旋記念書籍館」の名称で開館し、所在地11回、名称13回と移り変わり現在に至っております。県内最古の図書館を知る資料として、また新たな津島の歴史を知る資料集として是非ご覧ください。

## 「偉人たちの伝記」



場所：津島市立図書館 1階中央 コーナー8

“偉人”と言うとどんな人が思いつくでしょうか？誰もが知っている人物もいれば、地域で活躍したマイナーな人物も存在するでしょう。今月のコーナーは伝記小説を中心に、様々な分野の偉人を特集します。これに際し、展示の中からおすすめの本を一部ご紹介します。

- 『スティーブ・ジョブズ』1・2巻 「iPod」「iPhone」の発明で世界を変えた人物
- 『本田宗一郎本伝』 小さな町工場から「世界のホンダ」へ駆け上がった努力家の物語
- 『青銭大名』 尾張の一奉行から津島を基盤に勢力を伸ばした信長の父織田信秀の生涯
- 『上杉鷹山』 大倭約で米沢藩を立て直した今も理想のリーダー像といわれている人物

### 神守図書室が移転します！

4月1日より現在の神守公民館から津島市生涯学習センター2階へ図書室が移転します。詳細につきましては来月号の「ぼけっと」または、館内配布のチラシにてご確認ください。



## 旧正月(春節)

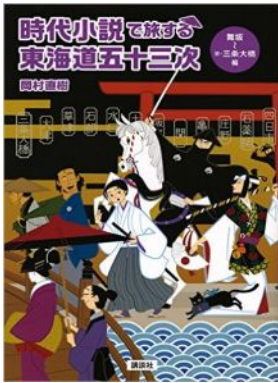


中国では今月の8日から旧正月で、お祝いムード一色になります。テレビで爆竹や花火で盛り上がっている様子を目にしますね。今回は中国に関する本をご紹介します。ぜひ読んでみてください。

- 『赤い高粱』 莫言/著 岩波書店 B923.7ハ ノーベル文学賞受賞作家の作品。映画化も
- 『魅力発見中国茶』 文化出版局 596.7ミ お茶と言えば中国。その楽しみ方を紹介
- 『秦始皇陵兵馬俑』 ニュートンプレス 222シ 世界遺産で有名な兵馬俑について解説
- 『北京の旅』 陳舜臣/著 平凡社 292チ 35年以上前の北京の様子を著者自ら語る

## 新 着 図 書

『時代小説で旅する東海道五十三次 舞坂～京・三条大橋編』岡村直樹 / 著 講談社 910.2/オ



東海道五十三次から時代小説の舞台となった宿場町をガイドした本です。1冊は江戸日本橋から浜松まで、もう1冊は静岡県の舞坂から終点の京都三条大橋まで、2冊に分け構成されています。

今回紹介するのは後者の本。地元愛知県は「二川」から熱田の「宮」まで。宮の解説では横溝正史『菊水兵談』、浅田次郎『五郎治殿御始末』、神坂次郎『だまってすわれば』等が紹介されています。また、著者による小説の読みどころ、地名の事についても詳しく書かれており、地元が登場する小説をお探しの方にとってはとても参考になる本ではないでしょうか。

## ベストリーダー

先月の利用の多かった本をご紹介します

- 『火花』又吉直樹/著 芥川賞受賞後も人気継続中の小説。舞台は著者と同じくお笑い芸人の世界。
- 『ビートルズ写真集』 9割がほぼ未発表作という写真集。いつもと違うリラックスした表情が印象的。
- 『人生の道しるべ』宮本輝・吉本ばなな/著 2人の作家による対話集。双方の生き方が人生の道標。
- 『味なメニュー』平松洋子/著 名店のメニューからお店を紐解くちょっと変わった外食のエッセイ。
- 『凍り野菜レシピ』是友麻希/著 野菜を凍らせていつもよりおいしさ倍増。上手な作り方を大公開。
- 『仁義なき宅配』横田増生/著 宅配業界はサービス合戦。著者自らが体を張り、業界の実態に深く迫る。
- 『尾形光琳』 別冊太陽シリーズの尾形光琳。昨年の琳派400年で再注目される光琳の作品を紹介。
- 『40歳からの女性のからだと気持ちの不安をなくす本』吉野一枝/著 40～50代の心と身体を解決。
- 『しあわせ紅茶時間』齊藤由美/著 元ブルックボンドハウス副支配人が伝授する最高の紅茶の楽しみ方。
- 『鼈河岸』宇江佐真理/著 昨年逝去した著者の人気作、髪結い伊三次捕物余話シリーズ『へっついがし』。

## 図書館のホームページをご利用ください

本の検索や、行事などの予定、図書館員のコラム(「図書館だより」)など、ほぼ毎日更新しています。検索メニューが豊富になり、より便利になりました! キーワードは「津島市立図書館」。  
<http://www.lib.tsushima.aichi.jp/toshokan/>

休館日

23日(火)(毎月第4火曜日)

津島市立図書館

〒496-0854 津島市老松町1-1

電話(0567)25-2145

